

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和04年12月26日

計画の名称	環境にやさしいまちづくりのための下水道重点計画												
計画の期間	令和05年度～令和09年度(5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	磐田市												
計画の目標	近代化による生活排水の増加に伴い、河川の汚濁が深刻な問題となっている。そのため公共下水道の設置により、都市の健全な発達および公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質の保全に資することを目的とする。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,574	A	3,574	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R05当初)	(R07末)	(R09末)
1	①毎年下水道処理人口普及率1.0%向上を目標として86.0%から91.0%に向上 下水道処理人口普及率 下水道処理人口普及率=供用開始区域内人口/行政人口	86%	89%	91%
2	②磐南浄化センター汚泥処理方法の検討・変更に関する計画等策定率を0%から100%にする 計画策定率 計画策定率 = 策定済み計画数 / 汚泥処理基本計画、全体計画、事業計画	0%	66%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
R05当初の現況値はR04末を使用														

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R05	R06	R07	R08	R09				
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	磐田市	直接	磐田市	管渠（ 污水）	新設	磐南処理区（アクション プランに基づく下水道未 普及解消）	污水管 L=30.0km	磐田市	■	■	■	■	■	3,500		策定済	
	A07-002	下水道	一般	磐田市	直接	磐田市	管渠（ 污水）	新設	磐南処理区（アクション プランに基づく下水道未 普及解消）	事業計画の策定	磐田市	■					24		策定済	
	A07-003	下水道	一般	磐田市	直接	磐田市	終末処 理場	新設	磐南処理区 汚泥処理計 画	汚泥処理方法の検討に関する 計画等の策定	磐田市		■	■	■	■	50		策定済	
											小計						3,574			
											合計						3,574			

交付金の執行状況

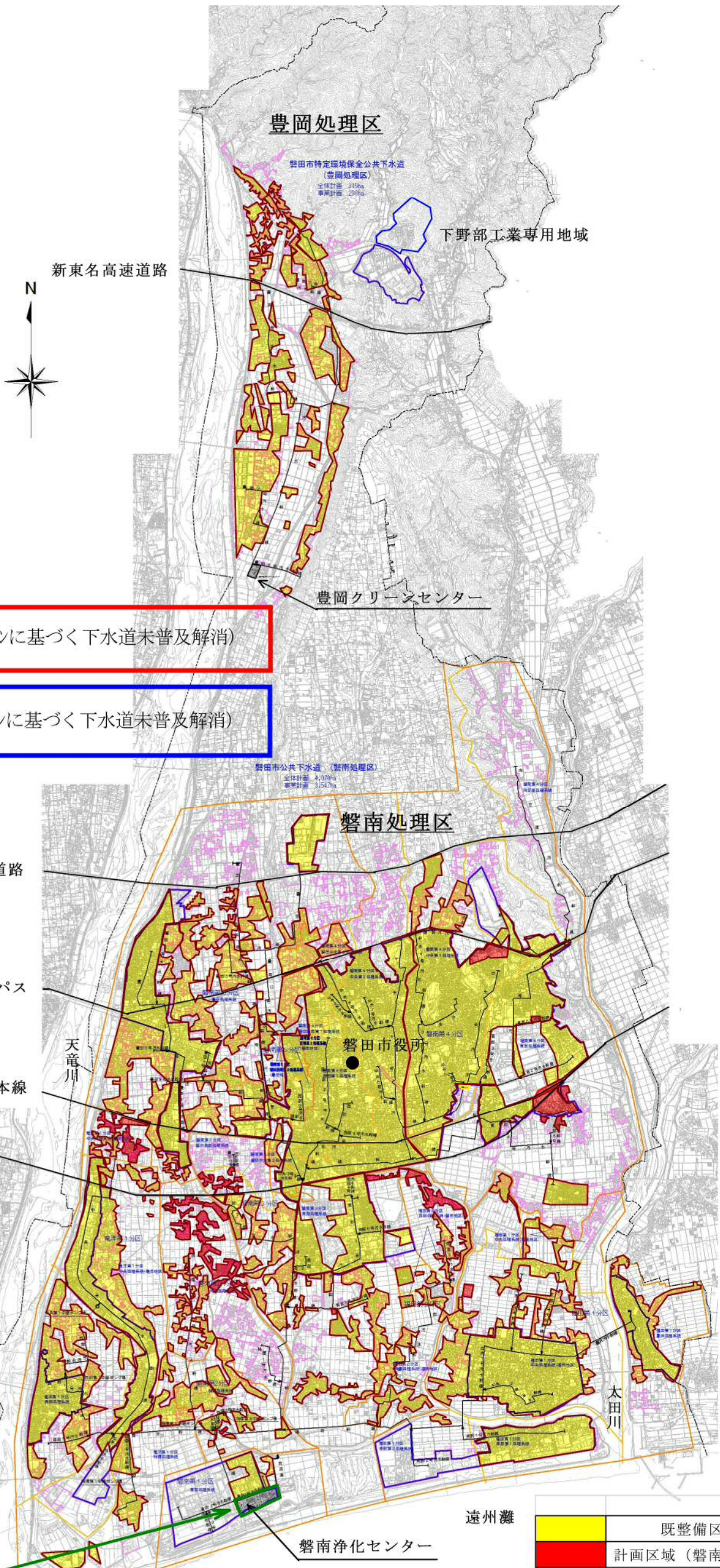
(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	245				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	245				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	245				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 環境にやさしいまちづくりのための下水道重点計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画との整合性 1) 上位計画との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標としている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と定量的指標の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と定量的指標の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と定量的指標の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と定量的指標の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の機運 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の機運 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○



A-07-001
 磐南処理区管渠整備 (アクションプランに基づく下水道未普及解消)
 污水管 L=30.0km

A-07-002
 磐南処理区管渠整備 (アクションプランに基づく下水道未普及解消)
 事業計画の策定

A-07-003
 磐南処理区 汚泥処理計画
 汚泥処理方法の検討に関する計画等の策定

	既整備区域
	計画区域 (磐南処理区)
	計画区域 (豊岡処理区)
	事業計画区域